



関係各位

有限会社エコ・ライス新潟



はんぶん米がスイーツの原料に！

第3回アレルギー対応スイーツ試作 がとう専科とコラボ
被災者支援を念頭にだれでも食べれるスイーツ
はんぶん米を使った「お米のプラマンジュ」「米丸」をつくる！

○ わんぱくアトピッチクラブの親子13名と試作&試食 ○



アレルギーも大満足！！甘いものが大好き！

がとう専科アレルギー対応工場にて第3回試作会を行いました。プロジェクト88からは3名の家政大生が参加。春休みとあってわんぱくアトピッチクラブから、高野代表をはじめ親子13名が参加してにぎやかで楽しい試作会となりました。

今回は、米丸（米粉を使った焼菓子）、お米のプラマンジュ（はんぶん米を使ったムース：松井社長のアイデア）、苺のデコレーションケーキ（改良版）を試作。前回デコレーションの豆乳クリームが柔らかすぎた反省から、クリームの練り方を改良したことで堅さが丁度よくなりました。



今後は地震の影響で入手が難しくなる懸念されるアレルギー食材ですが、プロジェクト88では米粉を使ったアレルギーフリーの焼菓子を被災地の子供たちに支援したいと願っています。

○ 長岡市の避難所を訪ね支援物資の配送準備をしました ○

新潟県には福島県からの避難者が大勢います。長岡北部体育館には現在139名の方がおり（ピーク時270名）学生と避難所を訪ねました。避難者が体育館に雑魚寝している姿はやはりショック。独特の雰囲気はテレビの映像からはわかりません。自分の目で見ることで避難生活の大変さがわかりました。



プライバシーのない避難所。今までに体験したことのない空間。見学をした安達紙器のガンボール更衣室が何台もありました。目の当たりにする現実に言葉が失う。



ボランティアの呼上さんから避難者の実情を聞く。津波で避難した人は何も持たず、長岡市に避難することすら知らないできた避難者も多くいます。



アレルギー、透析患者物資の積み込みを手伝う竹野さん（4年）。岡山県腎臓透析患者会からの支援物資で一箱ずつ心のこもったメッセージが貼ってありました。



2トントラック一杯になった支援物資。これからは現地から要請のあった必要な物資のみを選びます。元気な学生は重い水の箱も軽々と積みました。

【 問合せ先：(有)エコ・ライス新潟 豊永有(トヨカガユ) 】

〒954-0181 新潟県長岡市脇川新田町字前島 970-100

TEL 0258-66-0070 mobile 090-6458-5535

